

【別紙 2】

主任更新研修の事例提出について

奈良県主任介護支援専門員更新研修の申込みありがとうございます。平成 28 年 4 月 1 日より法定研修体系が改正されました。主任更新研修を受講されるにあたり、**ご自分が他の介護支援専門員の指導をした事例提出**が必要です。事例の提出が無い場合は、受講ができませんのでよろしくをお願いします。(指導した介護支援専門員は、自事業所・他事業所所属は問いません)

主任更新の研修を申込する際に、事例内容と事例タイトルの報告が必要です。事例内容については、下記の参考選択表をご覧のうえ、提出予定の事例に当てはまる項目①～⑦を、必ず3つ以上選択し、研修申込書へ記入してください。(選択する際には、課目名やキーワード例をよく確認してください)

受講の際には、報告した内容に沿った事例を提出してください。よろしくをお願いします。

《参考選択表》

項目	課目名	キーワード例
①	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用 等
②	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について 等
③	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障がいの取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況 等
④	入退院時における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症・等
⑤	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応・家族間の関係性を対応した 等
⑥	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源の特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例 等
⑦	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス・施設サービス等）の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービスの対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・複合型サービス・小規模多機能居宅介護活用 等

《お願い》

(1) 上記①～⑦の 3 つ以上に関連した事例を、研修初日にご提出下さい

(例) 選択 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

事例タイトル『認知症により徘徊が見られ、家族は要介護状況であるが、本人がリハビリを行う事で排泄が自立し生活機能が改善した』事例

(2) 研修申込用紙【主任更新様式-4】に (1) の内容を明記し、受講申し込み時に提出して下さい。

(3) 【別紙 3】事例提出書類は、**研修初日（令和元年 7 月 20 日）**に写しを提出します。**8 部**の写しを取って 1 部を研修実施団体に提出します。残りの 7 部は、2 日目以降に持参いただきます。

(4) 研修科目の演習で事例を扱いますので、事例は必ず必要です。

【別紙3】

主任介護支援専門員更新研修 事例提出書類

事例－1：事例シート（表紙）

事例－2：利用者基本情報

事例－3：事例まとめシート

事例－4：居宅（予防）サービス計画書（指導前1部・指導後1部）

※指定の様式はありません

事例－5：課題整理総括表（指導後）

上記を事例に基づき提出ください。提出がない場合は、受講ができません。

受講決定通知が届きましたら、令和元年7月20日（土）の研修日初日に8部の写しをとって持参し、うち1部を事務局提出分として出してください。よろしく
お願いします。

※事例様式－5の記入方法については、WAM NETの

介護保険最新情報V o 1 . 3 7 9 「課題整理総括表・評価表の活用の手引き」
を参考にしてください。